

《被保険者及び被扶養者の現況書》

この現況書は、被扶養者の認定にあたり生計維持関係の立証書類として重要な資料となりますので、下記の全ての事項について事実をありのままにご記入ください。

なお、事実の相違が判明した場合には認定できませんし、認定時に遡って被扶養者の資格を取り消すことがあります。

また、記入された事項につきましては他の目的で使用することはありません。

※ あなたは、主たる生計者ですか？ ⇒ ☐ はい / ☐ いいえ = 認定不可

⇒「はい」の場合は、下記現況について教えてください

I. あなた（被保険者）の現況 ※①～⑤について、すべてご記入ください

①年収 万円 (月 手取額 万円)

★新規加入の場合は見込額、年収は賞与・税金を含んだ金額を記入

②給与以外の収入 ⇒ 無 ・ 有=年収 万円 種類

③住居

1. 持家 2. 借家 3. アパート 4. 公営住宅 5. 社宅
6. その他（ ）

④今回「申請する方」を扶養しなければならない理由

★今までの状況、および今回どのような理由で扶養しなければならなくなったのかを具体的に記入して下さい。また、父・母の一方だけを扶養申請する場合には、その配偶者の状況（離婚している場合にはその年月日、またすでに亡くなっている場合にはその年月日・遺族年金受給の有無及びその金額）を記入して下さい。ご健在ならば申請する方と同様に各種の収入証明の添付が必要となります。

⑤今回「申請する方」を扶養する義務のある方

★自身の親であればあなたの兄弟姉妹等、妻の親であれば妻を含め妻の兄弟姉妹等

氏名	年齢	続柄	職業	月手取額(円)	住所（市区郡まで）		援助有無
被保険者						同居・別居	有()・無
						同居・別居	
						同居・別居	
						同居・別居	
						同居・別居	

(裏面に続く)

Ⅱ. 申請する方（被扶養者）の現況

氏名	年齢	続柄	月収入額(円)	現住所

①申請時点で加入している(していた)健康保険の種類

1. 健康保険 2. 国民健康保険 3. その他()

②申請理由

1. 会社を退職した（退職日： 年 月 日） ⇒ 離職票のコピーを添付してください

《雇用保険の受給状況》

ア. 受給中(月額 円) イ. 申請中(年 月 日申請)

ウ、申請予定(年 月頃) エ、申請しない オ、受給終了

※失業給付の日額が 3,612 円以上ある場合は認定不可

2. 国民健康保険から指示があった（ア. 口頭 イ. 文書）

3. 他の被扶養者になっていた（氏名 ） 今回申請する方との続柄

③年金・基金・恩給等の収入 ⇒ 直近の年金支払通知書等のコピーを添付してください

1. 受給中 年額 円 (月額 円)

2. 申請できる (年 月 日申請済 / 年 月 日申請予定)

3. 受給権なし（理由 ）

④その他の収入 ⇒ 無 ・ 有=月手取額 円

★収入の明細が記載されているもの(確定申告書の写し・所得証明書の添付が必要)

1. パート・アルバイト収入 2. 各種給付金 3. 農業所得 4. 事業・不動産収入
5. 利子・配当収入 6. 雑所得 7. その他（ ）

⑤被保険者の年収の 1/2 未満の収入ですか？ ⇒ ☐ はい / ☐ いいえ

【被保険者と別居している場合】

①住居

1. 持家 2. 借家 3. アパート 4. 公営住宅 5. 社宅

6. その他 ()

★賃貸の場合は賃借料、持家でローン返済がある場合はその額 月額 円

②被保険者からの仕送り ⇒ 無 ・ 有 = 下記に記入願います

毎月	円	賞与時	年	回	各	円	年間合計	円
----	---	-----	---	---	---	---	------	---

★被扶養者となる人の収入が、被保険者からの仕送り額より多い場合は認定不可

1. 銀行振込 2. 現金書留 3. その他 ()

★振込額の控等の写し(振込者、振込先、振込額がわかるもの)がない場合は認定不可

(仕送りが手渡しの場合は、認定不可)

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

記号	番号	被保険者氏名